

# 平成23年度 豊かなむらづくり全国表彰事業 東北ブロック受賞団体の取組概要

## 【農林水産大臣賞】

～「絆」が支え、「結い」が育む城内・上区～

受賞団体：おのだ城内・上区集落活動組織（宮城県加美町）

### ◆むらづくりの背景・経緯

本集落は、古来から行われてきた「結い」により、集落住民全員で農道や用水路等の維持管理を行ってきたが、昭和60年頃からは、住民の高齢化などにより、農業者だけでこれらの維持管理を行う状況となっていた。

この状況を解決すべく、平成19年度から始まった「農地・水・環境保全向上対策」の導入を契機に、集落の営農組織である上区城内営農組合が中心となり、非農家世帯にも声を掛けて話し合いが持たれた。その結果、「結い」の精神を見直し、地域ぐるみで農村環境保全や水質の向上等を目的とした活動を行うこととし、平成19年5月におのだ城内・上区集落活動組織を発足した。

### ◆むらづくりの内容

#### ○農業生産面

加美町でつくられる堆肥を活用した資源循環型農業及び減農薬等の実施による環境負荷低減農業を実践し、環境保全米として生産・販売を行っている。

また、6次産業化に向けた取組みとして、集落産米を使用したもち加工や、安全性の高い玉ねぎの契約栽培等を行っており、今後は集落産大豆のみそ加工も検討している。



環境保全米の生産

#### ○生活・環境整備面

地区内の耕作放棄地等を活用し、ビオトープエリア及びホテルの生息地エリアを設置し、地域の子供達と農地の水質調査や生き物調査を実施している。

また、加美町グリーン・ツーリズム推進協議会と連携して仙臺市立松陵<sup>しょうりょう</sup>中学校の農業体験・農家民泊の受入を行っている。これがきっかけとなり、松陵地区と災害時の相互支援協定を結び、農村と都市が補完し合う新しい「結い」の形が生まれている。



支援物資の搬送（3.11東日本大震災）